

かがやき☆きただより 2016.6月号

〒651-1243

神戸市北区山田町下谷上

西丸山20-30

TEL 582-5544

社会福祉法人かがやき神戸 北区事業所発行



発行責任者：松本 多仁子

ありがとうございました！！あじさいバザー バザーの収益はショートステイ建設の資金として大事に遣います！！

5月21日、晴天の中、開催したあじさいバザーは、おかげさまで多くのお客様が来ていただきました。当日夏日の熱い中、ボランティアの皆様、バザー物品をご提供いただいた皆様、ご理解くださっているご近隣の皆様、バザーのお客様、本当にありがとうございました。バザーの収益は、ショートステイの建設費として大事に使わせていただきます。

ショートステイの建設は今年の法人の大きな目標です。ショートステイは、障害のある人を支援・介護している家族が病気や入院時等の緊急の生活支援だけではなく、「今一人暮らししているけど時々さびしくて辛くなった時に利用したい」「家族も障害当事者もお互いに自分の時間を持ちたい」「将来のために自立生活の体験・練習をしたい」という希望をかなえる場です。今の北区の施設敷地内に、7人が利用できるショートステイの建設を計画しています。

1階は車いすの重度の仲間も利用できるように、風呂場・トイレ・居室で自在に動くリフトの設置、車いすのまま入浴の実感を得られるシャワー設備、介護用トイレ・エレベーター等の設備、2階には、多目的室をつくり、地域の方にも利用していただければと考えています。

この建物の総額は1億2000万円かかります。命を守る建物、重い障害の方が使いやすいという設備には、お金がかかります。国からの補助はまだ決定していませんが、もし出たとしても1000万円です。もし申請が通ればうれしいです。この国からの補助金は、税金からの補助です。大事に遣っていくことは当たり前のことですが、今政治家のお金の遣い方について色々取りざたされている報道を聞いていると、東日本も熊本も大変なのに・・・高齢者福祉も、障害者福祉も、生活保護も、保育所問題も大変なのに・・・正直そのお金をもっと必要なことに回してほしいと本当に腹が立ちます。ショートステイ建設を実現するためには、法人・家族会がこつこつ貯めた建設のための資金だけでは足りません。色々な補助金を申請したりしながらも、不足の4000万円は、職員・家族・職員・関係者が力を合わせて、つくりだそうと頑張っています。今回のバザー収益もその一部にさせていただきます。

私たちは、あの阪神淡路大震災をきっかけに「貧しく、脆い福祉制度の中では、命は守れない」と多くの皆さんの応援をいただき、社会福祉法人を立ち上げました。その後、中越地震、東日本大震災、そしてつい先月には熊本大地震が起きました。私は、バザーの前の日までJDFの一員として、激震地、益城町の障害者個別調査には行っていました。倒壊した家々、斜めに傾いた建物、電柱、塀、どこから手をつければいいのかという家の中、そんな中、容赦なく余震は続いていました。亡くなられた方が、49人と阪神淡路や東日本と比べると少ない状況でしたが、その町並みは、今度大きな地震が来たら大変なことになることは一目瞭然です。そういう不安な中で、福祉避難所の整備も仮設住宅や借り上げ住宅も進んでいません。町の機能もやっと窓口が始まったばかりです。一日も早く元生活に戻れますようにと願うだけでした。

大災害が起こるたびに、「障害者は、高齢者は、子供たちは、この大変な中でどうしている？」という思いで被災地にはいきます。そこで学んだことは、「弱い立場の人に寄り添っている地域の強さ」です。でも未曾有の大災害はそうした地域の強みだけでは越えられない困難をもたらすことも現実です。地域の強みを発揮するためには「大きな困難を抱えている人に徹底して寄りそう制度・政策」が必要だと実感しました。大災害で失った多くの命や生活は、私たちにたくさんの教訓を残しました。政策・制度の不備で命や生活を引き換えにすることは、もう二度とあってはいけないと思います。私たちのショートステイ建設運動には、そんな思いを込めたいと思っています。

(松本 多仁子)

第39次国会請願署名行動の報告とお礼



皆様から協力頂いた、「きょうされん第39次国会請願署名」を、東京の国会議員会館で兵庫選出国會議員の皆様に届けてきました。かがやき神戸北の署名数は6,040筆、募金額は60,940円でした。ほんとうに、ありがとうございました。

4月20日(水)第39次国会請願行動があり、全国各地から集まった約400人が714人の国会議員を訪問しました。兵庫からも11人が参加し、兵庫選出の全議員訪問をしてきました。また、「きょうされん」として、昨年に引き続き厚生労働省と交渉し、5政党(民進党・日本共産党・おおさか維新の会・生活の党と山本太郎となかまたち・社民党)と懇談会を持つことが出来ました。

今回は「2016年熊本地震における被災障害者並びに被災作業所・事業所等への支援に対する緊急要望書」を提出してきました。皆の思いのこもった署名に対して、国会で真摯に議論されることを望みます。

ご協力ありがとうございました！

国会請願行動へ行ってきました！

(なかまの報告)



私は佃康明と申します。

社会福祉法人かがやき神戸 北施設のだんだんで働いています。

以前は精神的な不調で入院していましたが、今は落ち着いて生活できています。

訪問看護に来てもらって服薬等の相談に乗ってもらったり、ヘルパーさんに食事作りにきてもらっています。年内には一般就労に就きたいと思っています。

障害者でも幸せに生きていけるように、私もがんばりますので、議員さんもがんばってください。

以上が私が国会請願時に議員さんに話した内容です。本当はもう少し多いですが。

国会請願の感想としては1日目に10人ほどの議員さん、秘書さんにお会いしました。

どの方もよくお話を聞いてくれました。

直接議員さんが話を聞いてくれた時は上記の内容をしっかりと伝え、自分の考えを言うことが出来たと思います。

2日目は日比谷音楽堂で、あいにくの雨の中いろんな障害をお持ちの方の話を聞くことが出来ました。その後はパレードで国会議事堂まで歩きました。

2日間歩き回り、疲れましたが、いい経験にはなったと思います。

また次回開催の時にはすすんでいきたいと思っています。



「ふつうに生きたい くらしたい！」4.21 大集会が開催されました

4月21日(木)に障害者自立支援訴訟の基本合意の完全実現をめざす会関係者3000名が東京の日比谷野外音楽堂に集まり、「3年後の見直し」改正案は、「基本合意文書」「骨格提言」「権利条約」からは、かけ離れたものになっていることを訴える全国大集会が開催されました。兵庫からは、元原告(めざす会関係者を含め)8名・きょうされん関係者12名が駆けつけました。集会では、竹下義樹弁護団長のあいさつを皮切りに、情勢報告、基本合意の実現を求める訴えを元原告をはじめ、多種多様な立場で数名の方が訴えられました。集会終了後には、日比谷野外音楽堂から国会議事堂まで参加者全員でパレードを行い、全国の仲間たちとともに『約束を守れ!』『ふつうに生きたい くらしたい!』と訴えてきました。2010年1月7日に基本合意文書が交わされて、6年経ちましたが元原告をはじめとする会場に集まった関係者の熱い思いを久しぶりに感じ、今後の運動の力になりました。



～NPO 法人そらしど 代表理事「藤尾 さおりさん」～

もうすぐ設立！

ここへ引っ越ししてきてから、10年になります。この地域は、障がい児者に優しい街というイメージがあり、知的障害と自閉症のある長男を育てるのにいいのではないかとこのところあり、ここを選びました。かがやき神戸さんには、親子三代、そして発達に気がかりのある子と家族対象のサークルをしているのもあって、ずいぶん前から本当にお世話になっています。

以前、よさこいの「かがやき隊」を結成し、みんなで踊ったことも本当に楽しかったです。「わいわいアート」として造形の会を楽しんだり、子どもと2人ではなかなか経験させてあげられないことを、先生のご指導のもと楽しくできたことや、夏祭りで施設をお借りさせていただいて、流しそうめんやシャボン玉を思う存分楽しんだり、周囲に気を使い過ぎずに安心して子どもと一緒に遊べたことが本当によい思い出になっています。長男は今年高等部を卒業し、一緒に遊ぶことは減りましたが、小さい頃の大事な時期をかがやき神戸さんをはじめ、たくさんの方に支えていただき、また同じようなお子さんをもつお母さん同士と一緒に遊んで学び、心の葛藤などいろんな話をして一緒に成長してこれたことが、私にとって貴重な財産となっています。

私の仕事は看護師、助産師なのですが、障がい児者専門で、子育て支援や性教育などに関わっていきたく思っているところ、「かがやき神戸」さんからご依頼をいただいて、3年程健康相談として仲間の皆さまと一緒に過ごす時間が毎月の楽しみになっています。

今、また新たなステップとしてNPO法人設立に向け、代表理事として準備中です。この団体は、身体・知的・発達のそれぞれの障がいがあるお子さんがいる母8人で結成しました。

「どこにどんな子が生まれても、愛され受け止められ、必要な支援が受けられる社会へ」という理念のもと、主に障がいのある子とご家族への支援や、人と人、人と情報、人と施設、施設と

施設をつなげられるような事業を展開していきたいと思っています。

「そらの向こうの希望に向かって」をイメージし、「NPO法人そらしど」という名前にしました。

まだまだこれからスタートの団体なので、多くの方のご指導ご鞭撻をいただきながら成長していきたいと思っていますので、よろしくお願いたします。



2008年 きょうだいも一緒に
わいわいアート☆



「こんにちはまつり」で
踊りました♪





かがやき神戸職員募集中！

かがやき神戸では北区・西区で下記のとおり職員を募集しています。

勤務形態	勤務時間	部署	給与	仕事内容・場所
非常勤	7:30～16:00	なでしこの里	850円／1時間	厨房での弁当作り等【西区蘆谷町】
常勤	14:00～翌 9:30	森友寮	俸給表による	グループホーム世話人【西区王塚台】
非常勤	15:00～翌 9:30	森友寮	1000円／1時間	グループホーム世話人【西区王塚台】
非常勤	15:00～翌 9:30	のびのびホーム	1000円／1時間	グループホーム世話人【北区広陵町】
非常勤	9:00～16:00	つくしんぼ	850円／1時間	障害者支援員【北区山田町】
非常勤	8:45～17:15 10:45～19:15 (シフト制)	たにがみ障害者 地域生活支援 センター	850円／1時間	障がいのある方の相談業務【北区山田町】

【問い合わせ】 078-993-1667 担当：松原建二



かがやき神戸を支援する会では、年4回、機関紙「かがやき」を発行して、法人の様子や行事の紹介などを行っています。



ご協力お願いします！

かがやき神戸の応援団「社会福祉法人かがやき神戸を支援する会」への入会のお願い

年会費 1000円

会費振り込み先

郵便振替 口座記号番号 00930-1-67354

加入者名 社会福祉法人かがやき神戸を支援する会

また、障害者福祉制度の充実の活動している「きょうされん」の賛助会員にも、ご協力下さい

年会費 個人 1口 3000円 団体 1口 6000円

郵便振替 口座記号番号 00970-3-250425

加入者名 きょうされん兵庫支部

何とぞ、よろしくお願い致します。

—編集後記—

あじさいバザーも終わり、次の大きな行事が6月25日のめったにみられへんSHOWになりました。僕、河石としましては、何もかも初めての事(昨年11月入社のため)になり、何をやっても新鮮さがあり、それが楽しく思えます。今後も少しでも仲間が笑って、たのしくすごせるように頑張っていきたいと思いますので、今後とも末永くよろしくお願い致します。(河石)